



発行者
香川県生活科教育研究会会長
高橋 英武
発行日 平成19年1月10日

No. 18

今回の内容「体験・表現の学びの表現物による国語力の育成」

1 趣旨

国語力育成を教育目標の一つとして、多くの教育実践が行われている。語彙の獲得であったり、論理的な思考力や情緒力の育成であったり、国語科で扱われる国語力は言葉を中心にしたものであるが、生活科という国語力の場合は、体験とつないだことばや、文字表現に限らない音声での表現や身体表現を含む表現の力まで広く考える。

本単元では、学習指導要領の内容②「家庭生活を支えている家族のことや、自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活するようにする。」を受け、児童が家庭での生活に関心をもち、家庭生活を支えている家族の役割や関わりがわかり、お手伝いを通して、自分の役割を積極的に果たすことをねらいとした。

本単元では、単元全体を通して児童の自分についての意識・家庭生活に参加する意欲を指導要領のねらうところに高めるために、「児童の気付きや態度の変容は、体験とそれにつながる表現活動によってなされる。」と考え、体験と表現活動で多様な学習を行うこと、体験を家族と共に行ったり交流という他者との関わりを行ったりすることなどを試みている。

2 単元構成「わたしも、おてつだいをがんばるよ」

<問題をもつ>

夏休みのお手伝いを振り返り、家の人の仕事にはどんなものがあるか調べる計画を立てる。

<観察・体験・表現・考える>

家の人に仕事について、どんなものがあるかインタビューする。(家庭学習)

家の人の仕事調べをする。

家の人の仕事を発表する。

<体験・交流・表現・考える>

家庭で、自分ができるとお手伝いをする。(家庭学習)

自分がしたお手伝いを知らせ合う。

さらにがんばるお手伝いを考える。

お手伝いのこつを家の人にインタビューする。(家庭学習)

お手伝いの日記をかく。(家庭学習)

お手伝い発表会の準備をする。

お手伝い発表会をする。

<振り返り表現する>

家の人に感謝の手紙を書き、これからも続けるお手伝いを決める。

事後

<日常活動>

続けたいお手伝いを決める。

お手伝いを続ける。(家庭学習)



3 本時の学習

(1) 目標

- ・自分がしたお手伝いを聞いている人に分かりやすく、して見せることができる。
- ・友達の発表を聞いてよかったことや知りたいことを見つけることができる。

(2) 学習指導過程

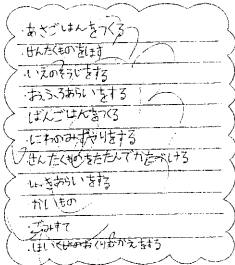
学習指導者 (T1) 支援教諭 (T2)

学習活動	予想される児童の反応と意識の流れ	教師の指導・支援と評価						
<p>1 発表会で話すことを思い出す。</p> <p>2 お手伝いじまん発表会で発表したり友達の発表を聞いたりする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 今日紹介するのは〇〇のことだ。 家から持ってきた〇〇を使って、本当にしてみせるよ。 学校にある〇〇を借りてやって見せるよ。 場所は〇〇がよさそうだね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> お手伝いしたことを友達に分かりやすく紹介しよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・何を紹介したいか、どうやって紹介するか、どこで何を使って紹介するのかを確認する。(T1) ・準備物や紹介の手順が不十分な児童を支援する。(T2) 						
<ul style="list-style-type: none"> ・こつはこれだ ・気をつけることは ・手順は 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">家庭科室で野菜を切るところを発表するよ。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">食器を用意するとき気をつけることを発表するよ。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">服は端と端を合わせて、袖を先にたたむといいよ。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">花に水をやりすぎないように気をつけるんだよ。</td> <td style="padding: 5px;">食器についた油汚れを先に取っておくことを言うよ。</td> <td style="padding: 5px;">妹に食べさせるときは小さくちぎってあげるんだよ。</td> </tr> </table> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 〇〇さんが上手にしていたよ。 隣の〇〇さんのいいところが見つかったよ。 他にもできそうなお手伝いがあったよ。 いろいろなお手伝いにそれぞれこつがあったよ。 </div>	家庭科室で野菜を切るところを発表するよ。	食器を用意するとき気をつけることを発表するよ。	服は端と端を合わせて、袖を先にたたむといいよ。	花に水をやりすぎないように気をつけるんだよ。	食器についた油汚れを先に取っておくことを言うよ。	妹に食べさせるときは小さくちぎってあげるんだよ。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いたワークシートのよかったところにコメントを入れ、こつなどを上手に伝えられるようにする。(T1) ・手順に沿って実演できるように前もって準備物を確かめておく。(T2)
家庭科室で野菜を切るところを発表するよ。	食器を用意するとき気をつけることを発表するよ。	服は端と端を合わせて、袖を先にたたむといいよ。						
花に水をやりすぎないように気をつけるんだよ。	食器についた油汚れを先に取っておくことを言うよ。	妹に食べさせるときは小さくちぎってあげるんだよ。						
<p>3 友達の発表を聞いて「すごいねカード」や「おしえてカード」に思ったことをまとめる。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">包丁を使うときは指を丸くして切らないようにしてた。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">先に人数分を並べて、こぼさないように気をつけてた。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">ぼくも洗濯物たたみをしているけど上手だったな。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">水が少なくていいお花もあるんだね。チューリップはどうかだろう。</td> <td style="padding: 5px;">油は取りにくいから先に拭いて取っていた。</td> <td style="padding: 5px;">小さい子の世話は難しそう。他にも色々あるのかな。</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">以下は次時</p>	包丁を使うときは指を丸くして切らないようにしてた。	先に人数分を並べて、こぼさないように気をつけてた。	ぼくも洗濯物たたみをしているけど上手だったな。	水が少なくていいお花もあるんだね。チューリップはどうかだろう。	油は取りにくいから先に拭いて取っていた。	小さい子の世話は難しそう。他にも色々あるのかな。	<ul style="list-style-type: none"> ・内容をよく聞けるように、「隣の子にカードを渡す」という課題を持って発表会に参加させる。(T1) ・「すごいねカード」「おしえてカード」を前もって渡しておく。(T2) ・発表中に見ていた児童から発せられた感想などを板書しておき、まとめるときのヒントにさせる。(T1) ・ポイントがつかめない児童には個別に声をかける。(T1, T2)
包丁を使うときは指を丸くして切らないようにしてた。	先に人数分を並べて、こぼさないように気をつけてた。	ぼくも洗濯物たたみをしているけど上手だったな。						
水が少なくていいお花もあるんだね。チューリップはどうかだろう。	油は取りにくいから先に拭いて取っていた。	小さい子の世話は難しそう。他にも色々あるのかな。						
<p>4 お手伝いじまん発表会をして、思ったことや考えたことを書く。</p> <p>(1)「すごいねカード」「おしえてカード」を交換する。</p> <p>(2)感想を発表する。</p> <p>(3)感想を書く。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">切ったときに、すごいって言ってもらえてうれしかった。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">食器を種類ごとに並べておくと、注いだり運んだりしやすいと言えた。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">端と端をそろえてたたむと大きな服も上手にたためるようになったよ。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">毎日忘れないで水やりしていて、紹介できたよ。</td> <td style="padding: 5px;">食器を片付けるときこつも覚えたいな。</td> <td style="padding: 5px;">気をつけて食べさせてたら、妹がよく言うことを聞くようになったかも。</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 教わったとおりにしたら、みんなに褒められたよ。 丁寧にしていたらもっと上手にできるようになるかな。 他のお手伝いにも挑戦してみたいな。 </div>	切ったときに、すごいって言ってもらえてうれしかった。	食器を種類ごとに並べておくと、注いだり運んだりしやすいと言えた。	端と端をそろえてたたむと大きな服も上手にたためるようになったよ。	毎日忘れないで水やりしていて、紹介できたよ。	食器を片付けるときこつも覚えたいな。	気をつけて食べさせてたら、妹がよく言うことを聞くようになったかも。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の反応がわかるように、先にカードを交換させる。(T1) ・それぞれが書く前に、何人かに感想を発表させ、自分の発表で上手く伝えられたことやよかったと思う方法などが表現できるように活動のポイントを確認させる。(T1) ・書く活動が苦手な児童に個別にヒントを与えたり、よい表現を認めたりする。(T1, T2)
切ったときに、すごいって言ってもらえてうれしかった。	食器を種類ごとに並べておくと、注いだり運んだりしやすいと言えた。	端と端をそろえてたたむと大きな服も上手にたためるようになったよ。						
毎日忘れないで水やりしていて、紹介できたよ。	食器を片付けるときこつも覚えたいな。	気をつけて食べさせてたら、妹がよく言うことを聞くようになったかも。						

4 表現活動による国語力育成のために

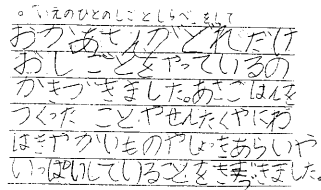
(1) 表現活動と児童の記録

いえのしごと みつけたよ



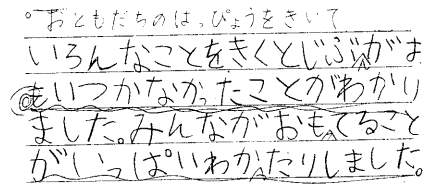
・家の人から家の仕事についてインタビューした。たくさんの仕事の名前を集めた。

しらべをしてわかったよ



・家の仕事が多様なものであることに気づき、家の人の日々の大変さを想像する児童。

はっぴようをきいてわかったよ



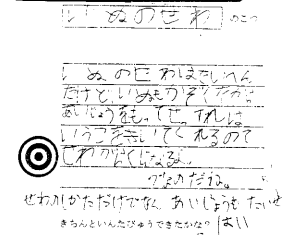
・友達が家の人の大変さを考えたり、感謝の気持ちをもったりしていることに気付いた児童。

がんばりカード

がんばりカード	○	○	○	○	○	○	○	○	○
おちこ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
おちこ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
おちこ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
おちこ	○	○	○	○	○	○	○	○	○

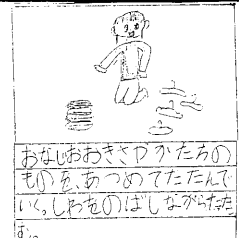
・「がんばりカード」をつけながらお手伝いを行う。家の人のお励ましがうれしかった。

こつをききたいな



・家の人にインタビューして、上手くできるようになりたいと願う気持ちが強くなった。

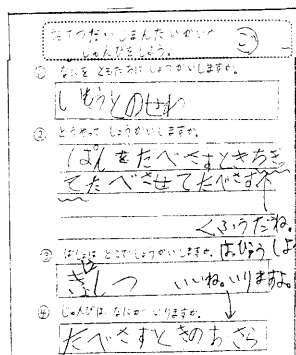
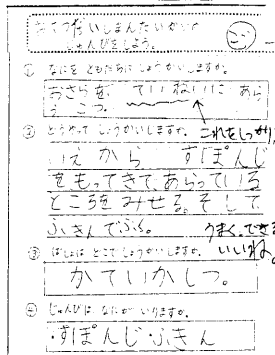
お手つだい えい日つき



・インタビューで聞いたこつや手順が活かされて、上手くできた様子がたくさん書かれている。

はっぴようかみのじゅんぴをしよう

・こつを分かりやすく言うために、お手伝いに必要な道具を用意したり、必要な道具を用意したり、何を使ってどうするかを考えたりしていることが分かる。

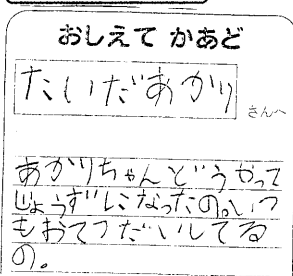


すごいねカード



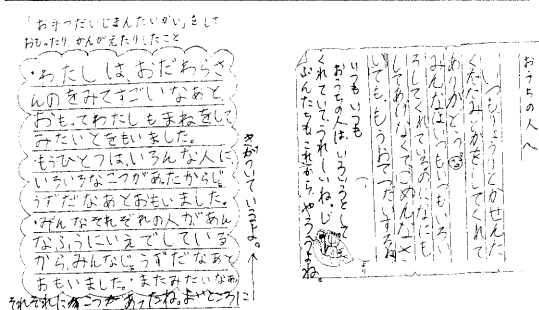
・自分と比べていいところを見つけている子が多かった。

おしえてカード



・新しいお手伝いに挑戦するきっかけになればと考えて用意。

じまんたいかみをしておもったりかみがえりしたこと



・友達の良いところを見て、まねしたいという意欲が高まる。

自分の活動をどう自己評価しているか、友達や発表をどう評価したかがそれぞれのカードに表されている。カードの内容や書きぶりが変容している授業では、児童が新しい気づきをもったり、活動への意欲が高まったりしているのではないだろうか。

(2) 実生活で生きる国語力 一家族の一員として生きるために一



「お手つだいじまんはっぴようかい」では、取り組んだお手伝いの中から自信を持って紹介できるものを選んで紹介することとした。発表会では、家の人から仕事をする時の手順やコツを聞き、自分がかんばってきた家の仕事のことを自信を持って紹介している。

紹介するために、何をどう説明するか、分かりやすく説明するために準備しないといけないものを考えたり用意したりすること、説明する順番や紹介したいコツなどを項目ごとに分けて書くようにした。

このことは、友達の記事を聞いて、新しいお手伝いに取り組もうと考えた児童にとっては、お手伝いの仕方が具体的に紹介されるので、次の活動にスムーズに入るきっかけとなると思われた。

また、自分のこれまでのお手伝いの仕方を振り返る機会となり、より活動に自信が持てたり技術が向上したりすることにつながり、家族の一員としての自分の姿が意識できるようになるのではないだろうか。

(3) 生活科ワークブックの活用

本単元では、生活科ワークブック「いえのしごとをわけてみよう」を、小単元「いえの人のしごとをしらべよう」で、「こんなことしたよ」を小単元「お手つだいにちょうせんだ」で使用した。ワークシートとして自分のしたお手伝いについて書く表現に活用した。

今回の展開では、たくさんの仕事を見つけさせたいと考えて使った「いえのしごとみつけたよ」など、生活科ワークブックにないワークシートも活用した。しかし、その場合も生活科ワークブックを資料として活用している。特に、生活科ワークブックにある挿絵や記人例などが視覚的な資料となり、お手伝いの活動そのものをイメージするのに役立った。お手伝いを具体的にイメージすることで、活動への意欲づけが図れたと考えている。

また、お手伝いのコツを見つけていく過程でも、ワークブックを参考にして手順の大切さをつかむことができていた。

しごとの じゆんばんを つづきえに しよう



(4) 交流で深まる考え、広がる意欲

振り返りの過程では、一人で振り返るのではなく、ペアやクラス全体での交流の場で自然と自分の体験と友達との体験を比べて振り返っている児童が多数いた。相手から学んだり相手によって気付かせてもらったりすることも自己を振り返る有効な手立てとなった。

また、お手伝いをしていく中で、お手伝いが単なる「手伝い」から「家族の一員として家のために共に働き共に楽しむ活動」へと変化し、家族との交流を通して、児童が家族の中で成長している自分に気付くきっかけとなったり、家族の役に立ちたいという意欲を高めるものになったりしている。